図書だより

令和６年２月号
香南中図書館発行

先月１月17日に第170回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。年に２回１月と７月に発表される文学賞ですが、この賞は、高松出身の菊池寛が創設しました。１７０回もの長きにわたり、友人の名を残すために作家の励みとなる賞を創設した菊池寛。ぜひ、菊池寛の作品にも触れてください。

ラストミッション！　卒業・進級までに２冊!!

投票してね！ 私のおすすめ１冊

３学期も残すところ２か月をきりました。
今の学年の締めくくり、中学校生活の締めくくりにも読書！
そして、**令和５年度 私の１冊を教えてください。**
図書室で読んだ本、公共図書館で読んだ本、本屋さんで見つけた本、どれでもＯＫ。今年度の自分の記憶に残っている１冊を教えてください。
ぜひ投票に図書室におこしください。

年度末の図書館利用について

年度末は、蔵書点検のため図書の貸し出しを行いません。下記の返却完了期限内で図書の利用をお願いします。**借りた本は必ず返却しましょう。**

３年生　・・・　返却完了　**３月　１日（金）**まで

１・２年生・・・　返却完了　**３月　８日（金）**まで

図書室で読める芥川賞・直木賞受賞作品

「おいしい　ごはんが
　食べられますように」
　　高瀬　準子 著・講談社
心をざわつかせる
仕事＋食べもの＋恋愛小説。

「夜に　星を　放つ」
　　窪　美澄 著・文芸春秋
人の心の揺らぎが放つ輝き
のストーリー。

「海の　見える　理髪店」
　　荻原　浩 著・集英社
永遠のようで儚い家族の
日々を描く６編の物語。

「推し　燃ゆ」
　宇佐美りん 著・河出書房新社
受賞当時 21 歳、現役大学生の受賞作。
アイドルに熱心なファンの話。
一心に想うことが生きる糧になっている
姿に純粋さと危うさを感じる物語。

「サラバ！」
　西　加奈子 著・小学館
直感のみで生きている母、痩せてい
る父、「自分を見て！」の姉の貴子、
そして主人公歩。この家族から
目が離せない物語。

「蜜蜂 と 遠雷」
　　恩田　陸 著・幻冬舎
ピアノコンクールを舞台に、
人間の才能と運命、音楽を
描いた青春小説。

「コンビニ人間」
　　村田沙耶香 著・文芸春秋
大学卒業後、就職もせず、
コンビニのバイトで１８年。
主人公恵子の生活とは…

「少年 と 犬」
馳　星周 著・文芸春秋社
人生の無常と犬の神秘性を
描いた７つの物語。

こちらは 菊池寛の作品

「心の王冠」
美しく儚い女学生の心、そして大いなる夢を描く。

「恩讐の彼方に」
懺悔の心、復習の思い、心の葛藤を描く。

「マスク」
スペイン風邪にかかりたくないマスク生活を描く。